

金沢駅七不思議

1. 金沢駅兼六園口《東口》もてなしドームの形状は何を表しているの



半径90メートルの巨大な一部を、三味線の「バチ」の形に切り出した形状になっています。

芸能の町に相應しデザインだと思います。

金沢は雨や雪が多いため「駅を降りた人に傘を差しだすおもてなしの心」をコンセプトに誕生しました。

広さ3000㎡、高さ29.5m（9階建てビルと同等）の巨大なアルミ建築です。

建築家白江龍三氏により、基礎計画から12年の歳月を経て2015年に完成しました。

2. 「もてなしドーム」の前の門の形が鼓である訳は



金沢の伝統芸能である能楽で使われる「鼓」をイメージしています。

金沢は古くから能楽が盛んな町で、加賀藩では庶民にも能楽（加賀宝生流）を奨励したため、庭師や大工が高い場所でも仕事をしながら謡を口ずさんでいたと言います。

では北島三郎さんの「加賀の女」より

謡曲（うた）がふるふる 加賀宝生の 木暮れ陽青い 石だたみ
ああ金沢は 金沢は・・・

「もてなしドーム」の三味線の「バチ」の形や鼓門の「鼓」は芸能が盛んな金沢を象徴していると思っています。

3. 「もてなしドーム」の天上にあるリングは何のためにあるの



ドームの天上のリングは「テンションリング」と呼ばれており、このテンションリングは構造上必要不可欠で、これがあることで180センチの積雪に耐えることができるそうです。

リングの直径は12メートルもあり、そこからワイヤーが出ていてドームを引っ張っています。

リングは何かを吊るすための物ではないのです。

天上のガラスパネルは各々、微妙に異なり正方形のガラスは1枚も使用していません。

3019枚のガラスが約6000本のアルミフレームで支えられています。



よく見ると写真のように五芒星が見えませんか。無理があるかな。

いいじ金沢 まち「ネタ」より

4. 「鼓門」の柱の中の物は何



二本の柱の中をよく見るとなにやらパイプが通っているのがわかります。

実はドーム等に降った雨水を再利用できるように配管が通されており、現代の環境ニーズにも対応されているという意外とハイテクの門になっています。

地下広場の排気塔のパイプも入っているそうです。
ARCHI 'RECORDS 金沢駅東広場より

柱の中も面白いですが、毎晩、日没から0時までライトアップされ、その間の毎正時（20時00分、21時00分など）には2分間だけ加賀五彩（えんじ、藍、草、黄土、古代紫）をイメージした光で曜日ごとに異なる色でライトアップされます。（月：えんじ、火：藍、水：草、木：黄土、金：古代紫）土・日・祝日は5色それぞれで2分間ずつ[加賀五彩で色彩られます](#)ので、夜の金沢観光の際にぜひお立ち寄りください！

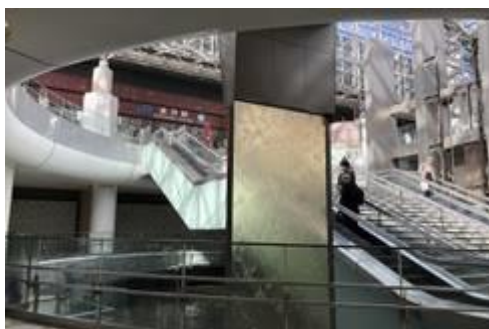
5. 「もてなしドーム」中央のエスカレーター横の滝の水は地下水を利用していますか

金沢は「用水のまち」として知られ、用水は金沢駅にも引き込まれています。

ドーム内を流れ滝となって地下広場へと流れ落ちているのは、兼六園の曲水や霞ヶ池の水源となっている辰巳用水の分水です。

地下水や水道水を使ってはいません。

また、駅西広場では香林坊等の繁華街を流れる鞍月用水を利用してハス池、スイレン池が設置され、人々の目を楽しませています。



6. 駅金沢港口(西口)にある市制百周年モニュメントは何を表しているの



1991年に建てられたもので「悠颺」(ゆうよう)という名称が付けられています。

作者は金沢出身の造形作家、蓮田脩五郎です。

「悠颺」とは「ゆったりと風で舞い上がる」という意味だそうです。

カナザワのカナをモチーフにしています。一部ではカタカナで「カナザワ」と読めるようそうですが「ザ」や「ワ」は無理があるかな「ワ」は90度回転すると読めるそうです。

小さいモニュメントもセットになっていますので「ザ」と読めるのかな？

写真は裏側で駅のコンコースから見た形が正面

だそうです。詳しくは [{まちネタ}](#) [{カナザワ}](#) にアクセスしてください。

7. 金沢駅にはハトの「ふん害」がなく綺麗なのはなぜ



ハトの「ふん害」は、全国の駅の悩みのタネですが、金沢駅は2015年の北陸新幹線開業時から、鷹匠(たかじょう)が毎月2回(4~10月)のペースで鷹を放ってにらみをきかせ、ハトが居つかないようにしています。

[「世界で最も美しい駅」14選](#)の景観を放鷹(ほうよう)という伝統的な技で守っています。

写真 イヌワシ、ハヤブサ~天空の覇者たち~
写真特集 より

鷹が飛ぶのを見れたらラッキー!!



コンコースに建つ12対24本の門型柱に工芸プレートをあしらうなど、地元の伝統工芸の技を随所に施した金沢駅は、さながらエキナカ美術館。

通路を歩きながら伝統工芸との出会いを楽しんだり、待合室でじっくり作品を鑑賞したり、壁を飾る著名作家の作品を背景に記念撮影をしたり一。

美術館にあるような工芸作品を、より身近に楽しむことができます。金沢旅物語より

写真 and tripより

以上、如何でしたか時間があったら金沢駅を散策してみてください。

[糸田作成の金沢観光案内\(名所、文学、工芸等\)](#)もどうぞ。